

大分市立大分西中学校 学力向上プラン 8月

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の状況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、全国(3年)や県(2年)、市(1年)の学力調査では、各教科とも平均正答率を上回る。 ・基礎学力が高い生徒が多い。その一方で基礎学力を身につけられていない生徒もいる。 ・ノーチャイムによる、主体的学習行動が生徒に意識化されている。 <p>◎30年度の国語の調査結果では、『書くこと』において「指定された文字数」や「三段落構成」などで文を書いたり、自分の考えを明確に書いたりすること(31%)について無回答率が多い。また、『伝国』において古文の内容を適切に理解、要約して書けなかった生徒が34.2%いる。</p> <p>◎数学の調査結果では、「数と式」において、その式が何を表しているのかを言葉で表す等の数学的な言語活動に課題が見られる。また、「図形」においても根拠をもとに筋道立てた自分なりの証明をしていくことに課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中して取り組むことができている。 ・難易度の高い問題にも粘り強く頑張る生徒が多い。 ・基本的な生活習慣の確立ができており、授業態度の良さが学習面に好影響を及ぼしている。 ・ノーチャイムによる主体的な行動もできるようになっている。 <p>◎作文課題に苦手意識を持っている生徒がおり、課題が未提出といった状況もある。</p> <p>◎小グループ学習を取り入れているが、より活性化した活動にするための課題がある。</p> <p>※全員参加ができていない場面もあるため、皆が主体的・意欲的に取り組むための手立てを仕組む必要がある。</p> <p>※考えを「広げる」ことはできているが「深める」こともできる手立てを仕組む必要がある。</p>
指導の状況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職による毎日の授業観察、助言を行っている。 ・UDの視点を取り入れた全員に分かりやすい授業を研究、実践している。 ・生徒指導の三機能を生かした授業を行うことにより、生徒自らが主体的に課題と向き合う学習を促進している。 <p>◎講義中心の授業になることもあるため、必要感のある課題を設定し、見通しをもたせることなどにより、生徒が主体的に学べるような授業改善が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業2分前着席、1分前黙想、授業態度向上、忘れ物なし等に学習指導部・生徒会・学習委員が中心となり取り組むことができている。「西中学習態度向上プロジェクト」 ・教師の率先垂範として、1分前入室が継続されている。 ・「毎日ノート」など家庭学習が習慣化するように点検を行った結果、90%以上は提出できている。 ・「毎日ノート」や各種課題の学習内容についても個別指導を継続している。 <p>◎補充学習については、放課後等の時間を捻出し、いつ・誰が・どのように指導に当たっていくかの指導体制を確立していく必要がある。</p>
今後目指す児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力学習状況調査 全教科全国平均値+7ポイント達成 ・県学力定着状況調査 全教科全国平均値+10ポイント達成 ・市標準学力検査 全教科全国平均値+7ポイント達成 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値は昨年度の当該学年平均値を鑑みて設定している。 ・授業の課題に対して自分の考えを持ち、仲間と共感的な人間関係を結びつつ、積極的に解決に取り組み発言することにより、自己存在感を抱ける生徒を目標としている。 ・自分の考えを伝えるとともに、友だちの考えを理解しようと努め、集団で学力向上を図る生徒を目標としている。
今後の具体的な取組	<p>1. 授業改善の取り組み(目標改善に向けた、教員全員での取組)</p> <p>①授業研究の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間完結型の「めあて」と「振り返り」または「課題」と「まとめ」のある授業，体験的で課題解決的な展開の授業。(生徒指導の三機能) ・板書の構造化(マグネットを使用し工夫、色を分けた板書)とノート整理の指導。 ・習熟の程度に応じたきめ細かな指導。(机間指導、昼休みや放課後等の個に応じた課題と支援) <p>②互見授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科での授業研究、管理職からの助言・生徒指導の三機能を生かす授業、UD授業の研究の深化。 ・発表ルール、グループ学習の進め方確認と徹底。 ・「授業のながれ」「めあて」「課題」「振り返り」「まとめ」カード利用。 <p>2. その他の学習指導の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲を高めるICTを使用した授業の工夫。 ・補充学習の実施。(長期休業を中心に各学年設定実施) ・計画的な家庭学習課題の提供。 ・定期考査前学習会、補充学習の実施。(各学年・教科による取り組みも2学期から実施) <p>3. 個別指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年の二者面談(6,9,2月)の実施により、学習上の悩みやつまずきの把握と助言・学習方法の提示。 ・3年生の三者面談(7,12月)による到達目標の設定や、具体的な取組の検討と助言。 <p>4. 各学年の学力向上に係る、2学期以降の具体的な方策(指導の重点)</p> <p>○1年生：①生徒指導の三機能を意識し、学習方法の習得を図る指導を行う。</p> <p>②朝読書を通して豊かな心を育み、落ち着いて学習に取り組む心構えをつくる指導を行う。</p> <p>③授業規律を守り落ち着いた雰囲気での学習に取り組むための指導を行うとともに、生徒による「学習態度向上プロジェクト」の充実を図る。</p> <p>④ペアトークや小グループでの話し合い活動を導入する。</p> <p>⑤「毎日ノート」を用いた家庭での自主学習と、その点検を通しての質的向上を図る指導を行う。</p> <p>○2年生：①学習に意欲的に取り組む姿勢を培うために、生徒指導の三機能を意識した授業を実施する。</p> <p>②考える力とコミュニケーション力を高めるために、ペアトークや小グループ活動を取り入れた授業を実施する。</p> <p>③「西中タイム」で基礎学力と書く力をつけるために、授業の復習プリントや200字作文に取り組みさせる。</p> <p>④計画的な家庭学習の定着を図るために、毎日ノートの学習内容を提示する。(曜日ごとに教科を指定)</p> <p>⑤学習規律確立のために、「学習態度向上プロジェクト」に生徒自ら取り組みせ、クラスの学習態度向上を図る。</p> <p>○3年生：①生徒指導の三機能を意識した授業等で、ペア学習やグループ学習を活用し学び合い学習を進める。</p> <p>②家庭学習の「新研究」と朝自習の「サポート」の取組を徹底させる。</p> <p>③学習習慣が身につけていない生徒、意欲の低い生徒への個別指導を計画的に行う。</p> <p>④授業や宿題の中で、応用問題や発展的な課題に取り組みせ、活用力をつけさせる。</p> <p>⑤学習規律確立 2分前着席や授業前後の挨拶を、生徒会の「学習態度向上プロジェクト」活動とタイプし、自治的に行うことで意識を高める。</p>	
家庭・地域との協働	<p>1. 「毎日ノートの内容を家庭で点検する。また、声かけを頻繁にする。」よう家庭へ依頼し連携を強化する。</p> <p>2. テスト前にはTV、携帯、パソコンの時間を制限するよう、学校通信・学年通信・学級通信等で周知する。</p> <p>3. 家庭との連携、保護者とのコミュニケーションを学校の重点取組として推進する。</p>	